

- ① 結核・抗酸菌症 10 症例以上診療し、所属施設長が承認した者。
  - ② ICD の資格を持ち結核院内感染対策に従事し、所属施設長が承認した者。
  - ③ 保健所勤務歴 3 年以上の者。
- 4) 「結核」等の学術誌に、結核・抗酸菌症に関する論文（原著・総説・症例報告等）、または日本結核病学会（総会・支部会）における発表を 3 篇（題）以上。（うち 1 篇（題）は筆頭著者（演者）とする。）
- 5) 審議会が指定したセミナー等に参加し、所定単位 80 点を取得したもの（施行細則 3 参照）。

## ●第 4 章 認定申請の要項

### 第 9 条

認定を希望する者は、次の各項に定める書類を審議会に提出する。

- (1) 認定医
  1. 申請書
  2. 医師免許証のコピー
  3. 申請料（施行細則 2 参照）
  4. 規定の単位取得証明書（施行細則 3 参照）
- (2) 指導医
  1. 上記 1～4 の書類
  2. 次のいずれかの書類
    - ① 抗酸菌症 10 症例以上を診療したことを証明する「診療実績証明書」。
    - ② ICD 認定証のコピーおよび「結核院内感染対策従事証明書」。
    - ③ 3 年以上の保健所勤務歴を証明できる書類。
  3. 結核・抗酸菌症に関する論文または抄録（コピー可）

### 第 10 条

認定申請の期限は毎年 9 月末日とし、審議会は毎年 1 回申請書類により審査を行い認定する。

### 第 11 条

本学会は認定された者に対し認定証を交付し、学会誌とホームページに名簿を掲載する。

### 第 12 条

認定期間は 5 年間とし、認定更新の審査を経なければ、引き続いて認定医・指導医を呼称することは出来ない。

## ●第 5 章 認定医・指導医の資格の更新

### 第 13 条

審議会は、認定を受けてから 5 年を経たときに、審議会の定める要件（施行細則 4 参照）を充たした者について、認定更新申請書類の審査を行い、審議会で審査のうえ、資格を更新し、認定証を交付する。また、学会誌とホームページに更新者名簿を掲載する。更新を希望する者は次の各項に定める書類を審議会に申請期限までに提出する。なお、更新申請の期日は毎年 9 月末日とする。

1. 認定資格更新申請書（該当者には本学会から送付）
2. 単位取得確認書類（施行細則 5 参照）
3. 更新料（施行細則 7 参照）

●第6章 認定医・指導医の資格の喪失

第14条

次の事由により、その資格を喪失する。

1. 正当な理由を付して、資格を辞退したとき。
2. 本学会会員の資格を喪失した時。
3. 申請書類に虚偽が認められた時。
4. 所定の期限までに認定更新を申請しなかった時。
5. 認定医・指導医としてふさわしくない行為のあった者。

●第7章 本制度の運営

第15条

この規則に規定するものの他、本制度の運営についての必要な事項は別に細則に定める。

●第8章 規則および細則の施行、改廃

第16条

この規則および細則の改廃は審議会の議を経て、本学会理事会で決定する。

第17条

この規則は平成22年5月19日から施行する。

---

☆結核・抗酸菌症認定医・指導医認定制度施行細則

平成22年5月19日制定

●細則1 審議会の業務

認定および更新のための審査以外に、認定医・指導医の教育に必要な年間教育プログラム計画の作成とそれに基づいた教科書の作製および改訂を行い、系統的な結核・抗酸菌症に関する生涯教育セミナーを開催し、さらに学術集会のなかから生涯教育プログラムに合致した内容のものをセミナーに指定する。

●細則2 申請料および認定料

申請者は申請料(10,000円)を、認定を受けた者は認定料(10,000円)を指定の・・・銀行口座に振込みのうえ、振込用紙のコピーを申請書に貼付する。振込手数料は申請者負担。

名義：日本結核病学会

・・・銀行 口座番号 .....

●細則3 認定の要件

審議会が指定した生涯教育セミナー等に参加し、所定単位（認定医50点、指導医80点）を取得した者。但し、経過措置として平成24年迄は会員歴10年以上の者は30点を付加するものとする。

単位取得の対象となる項目	単位数
(1) 結核・抗酸菌症生涯教育セミナー出席者	30
(2) 結核予防会医学科コース・結核対策指導者育成コース受講歴	
①指導者養成研修コース（15日間）	80
②医師臨床研修コース（3日間）	40
③アドバンスコース（8日間）	50
④医師5日間研修コース（5日間）	40
⑤胸部X線読影コース（3日間）	25
(3) 審議会が指定する結核・抗酸菌症に関連したプログラム（日本呼吸器学会総会等）	20
(4) 本学会の主催する学術集会（総会）出席者	20
(5) 本学会の主催する学術集会（支部学会）出席者	5

※上記(1)または(2)①～④のいずれかを必須項目とする。

※「本学会の主催する学術集会」は過去5年間に開催されたものが該当する。

☆上記(1)および(3)の講師も単位取得できるものとする。

☆なお結核・抗酸菌症生涯教育セミナーは本学会員以外も参加できることとし、参加者には修了証を発行する。

●細則4 認定更新の要件

認定医・指導医は、認定を受けてから5年後、以下を満たしている場合、資格の更新を申請することができる。

(1) 認定された後も引き続き本学会の会員であること。

(2) 認定を受けてから5年間、結核および非結核性抗酸菌症に対する適切な医療に貢献するとともに、審議会が指定した生涯教育セミナー等に参加し、所定単位（認定医50点、指導医80点）を取得した者。

単位取得の対象となる項目	単位数
(1) 結核・抗酸菌症生涯教育セミナー出席者	30
(2) 結核予防会医学科コース・結核対策指導者育成コース受講歴	
①指導者養成研修コース（15日間）	80
②医師臨床研修コース（3日間）	40
③アドバンスコース（8日間）	50
④医師5日間研修コース（5日間）	40
⑤胸部X線読影コース（3日間）	25
(3) 審議会が指定する結核・抗酸菌症に関連したプログラム	20

(日本呼吸器学会総会 等)	
(4) 本学会の主催する学術集会(総会)出席者	20
(5) 本学会の主催する学術集会(支部学会)出席者	5
(6) 「結核」誌掲載論文の筆頭著者	10
(7) 「結核」誌掲載論文の共著者	5
(8) 本学会の主催する学術集会(総会・支部会等)での発表演 題の演者	5
(9) 本学会の主催する学術集会(総会・支部会等)での発表演 題の共同発表者	2

※上記(1)または(2)①~④のいずれかを必須項目とする。

※これらは過去5年間に開催あるいは発表されたものが該当する。

(3) 認定期間中に海外留学した場合は、留学期間相当分の認定期間の延長をすることができる(書式9)。

●細則5 単位取得確認書類

(1) 所定の用紙に貼付したセミナー・学術集会に参加したことを証明する書類

結核・抗酸菌症生涯教育セミナーに参加したことを証明する書類として、参加証のコピーを所定用紙(書式2)に、審議会が指定する結核・抗酸菌症に関連したプログラムに参加したことを証明する書類として、参加証のコピーを所定用紙(書式3)に貼付する。結核予防会医学科コース、結核対策指導者養成研修コース受講修了書のコピーを所定用紙(書式4)に貼付する。また、本学会が主催する総会、支部学会への参加証のコピーを所定の用紙(書式5)に貼付する。

書類提出先:

〒204-8533 東京都文京区本郷4-8-9 日本結核病学会事務局  
結核・抗酸菌症診療医・指導医認定制度審議委員会 宛

●細則6 名誉会員、功労会員に関して

本学会名誉会員および功労会員において、指導医応募資格3)に関しては、所属施設長に代わって理事長が承認することができる。

●細則7 更新料

更新料(20,000円)を指定の・・・銀行口座に振込のうえ、振込用紙のコピーを申請書に貼付する。振込手数料は申請者負担。

名義: 日本結核病学会

・・・銀行 口座番号 .....

## 日本感染症学会による結核に関する情報提供

## 第 53 回日本感染症学会中日本地方会学術集会

会期：2010 年 11 月 12 日（金）～13 日（土）

会場：京都リサーチパーク

教育講演 2：結核菌脂質を標的とした新しい免疫応答

シンポジウム：Emerging Infectious Diseases

## 第 84 回日本感染症学会総会学術講演会

会期：2010 年 4 月 5 日（月）～6 日（火）

会場：国立京都国際会館

教育講演 13：結核の診断におけるクオンティフェロン検査の有用性

## 第 58 回日本感染症学会東日本地方会学術集会／第 56 回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会

会期：2009 年 10 月 30 日（金）～31 日（土）

会場：東京ドームホテル

ベーシックレクチャー：今、注目されている感染症

## 第 82 回日本感染症学会総会学術講演会

会期：2008 年 4 月 17 日（木）～18 日（金）

会場：島根県民会館 他

招請講演 1：結核免疫の昨日—今日—明日

## 第 50 回日本感染症学会中日本地方会学術集会／第 55 回日本化学療法学会西日本支部総会 同時期開催

会期：2007 年 10 月 29 日（月）～31 日（水）

会場：ホテルオークラ神戸

教育講演 6：結核診断法の実際

## 第 81 回日本感染症学会総会学術講演会

会期：2007 年 4 月 10 日（火）～11 日（水）

会場：国立京都国際会館

ワークショップ 27：結核接触者健診

## 第 79 回日本感染症学会総会学術講演会

会期：2005 年 4 月 14 日（木）～15 日（金）

会場：名古屋国際会議場

教育講演 2：新しい結核対策